

## AIクラウド工程管理『PROCOLLA（プロコラ）』 工程表の「印刷最適化技術」で特許を取得

～「文字の重なり」や「余白」を自動で調整。読みやすい工程表をワンクリックで実現する独自技術～

建設DXを推進する株式会社Arent（本社：東京都港区、代表取締役：鴨林広軌、以下「Arent」）は、AIクラウド工程管理システム『PROCOLLA（プロコラ）』において、工程表印刷時のテキスト配置を自動最適化する技術の特許（特許第7818668号）を取得したことをお知らせいたします。



### ■ 特許取得の背景：建設現場の「印刷」における非効率を解消

建設現場ではデジタル化が進む一方で、協力会社との打ち合わせや掲示用として「紙の工程表」は今も不可欠なツールです。しかし、従来のシステムでは、印刷時に文字が重なって読めなくなったり、データのない空白期間が紙面を占有したりすることが多く、印刷のためだけに手動でレイアウトを再調整する「二度手間」が大きな負担となっていました。

PROCOLLAは開発の過程で多くの現場ヒアリングを重ね、監督が直面するこうした細かなストレスを一つずつ解消すべく、プロダクトへの反映を続けてまいりました。今回の特許取得は、アナログとデジタルの橋渡しとなる「印刷」工程においても徹底した効率化を追求した成果です。

## ■ 特許技術（特許第7818668号）の主なポイント

本特許は、印刷実行時にシステムが自動でレイアウトを判定し、最適な状態へ制御する技術を対象としています。

- **文字位置の自動最適化**  
印刷時に文字の重なりを自動検知し、フォントサイズを縮小することなく読みやすい位置へ再配置します。
- **作業タスクとの紐づけ維持**  
配置を変更しても、どの文字がどのタスク（工程線）に付随するものか、対応関係を明確に保ちます。
- **空白期間の自動カット**  
データが存在しない期間を自動的に判別して非表示にすることで、限られた紙面を最大限に有効活用します。

## ■PROCOLLA（プロコラ）とは

『PROCOLLA』は、現場監督が担う多様な業務（QCDSE※）の支援を視野に入れた、現場支援型のAIクラウド工程管理システムです。大林組の豊富な実務経験と、Arentの技術力を掛け合わせることで、直感的な操作性と高度なAI支援機能を両立しました。現在は同社の現場に加え、複数の建設会社での導入が進んでおり、業界の新たなスタンダードを目指して展開を加速させています。

- 製品サイト：<https://procolla.com>
- お問い合わせ：<https://procolla.com/contact>
- デモ予約：<https://x.gd/5jg6W>

※QCDSE：建設現場で重要とされる5つの管理項目（Quality：品質、Cost：コスト、Delivery：工程、Safety：安全、Environment：環境）の略称。

## ■ 特許概要

- 特許番号：特許第7818668号
- 発明の名称：プログラム、情報処理方法及び情報処理装置
- 特許権者：株式会社Arent
- 出願番号：特願2024-176828
- 登録日：令和8年2月12日

## ■株式会社Arentについて

「暗黙知を民主化する」をミッションに、建設業界のDXを推進する企業です。クライアント企業と共に課題解決に取り組む「DX事業」と、自社SaaSを展開する「プロダクト事業」の二軸で事業を展開しています。

BIMを誰でも直感的に扱えるように設計されたRevit向けプラグイン群「LightningBIM」シリーズをはじめ、近年はM&Aを通じて6社・7製品シリーズをグループに加えるなど、建設業界が抱える構造的な課題をテクノロジーの力で解決しています。

- 会社名：株式会社Arent
- 所在地：東京都港区浜松町2-7-19 KDX浜松町ビル3階
- 代表者：代表取締役社長 鴨林広軌
- 設立：2012年7月2日
- 資本金：12億8,653万6,388円
- 事業内容：建設・プラント業界向けDX支援、システム開発・販売
- Webサイト：<https://arent.co.jp/>

以上